

2026 年度湘南医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)

入学者選抜Ⅱ期

専門科目 出題の意図

健康増進・予防領域

助産学領域

【問題番号 1】

がんは日本の死因第 1 位を維持しており、国のがん対策推進基本計画(第 4 期)が進められている。「がん予防」「がん医療」「がんとの共生」の取り組みを理解し、健康に関する意識や考えを具体的に述べる力を問う。

【問題番号 2】

看護職をはじめとした医療職の活動の場が拡大しており、それぞれの場に応じたチーム医療の実践が求められている。福祉施設と医療機関の設置目的や人員配置、役割の違いを理解し、その違いを踏まえて専門性を発揮しながらチーム医療を実践するために必要な考え方について問う。

【問題番号 3】

不妊症が増加している社会背景を理解し、看護に求められる支援・教育・予防の役割について論理的に述べる力を評価することを目的とした出題である。社会構造の変化と健康課題を関連づけて捉え、看護職として必要な視点を統合して説明できるかを問う。

心身機能回復領域

【問題番号 4】

身体障害領域における代表的な上肢機能評価法についての知識を確認するとともに、その評価法がどのような対象者に適応され、臨床場面でどのような意義を持つかを論理的に説明できる力を評価する。さらに、評価結果を治療方針の立案や効果判定にどのように活用するかという臨床応用力も確認することを目的とする。

【問題番号 5】

高次脳機能障害に関する臨床的・社会的課題への理解を確認するとともに、課題解決に向けて研究課題を設定し、適切な研究方法を構築する能力を評価する。あわせて、大学院で必要となる研究的視点、論理的思考力、研究デザインの基礎的理解を測ることを目的とする。

【問題番号 6】

周産期における母体の身体変化に関する基礎知識を確認するとともに、理学療法士として適切な介入方法を提案できる実践力を評価する。さらに、対象者の生活背景を踏まえた生活指導まで含

めて説明できるかを通じて、包括的な支援能力を測ることを目的とする。

【問題番号 7】

動作障害に対する視覚・聴覚・体性感覚など外的手掛かりの種類と、それぞれの活用方法についての理解を確認する問題である。対象者の障害特性に応じた手掛かりの選択や応用方法を説明できるかを通じて、運動学習や運動制御に関する知識、および臨床応用力を評価する。

【問題番号 8】

スポーツ理学療法における主要概念である「Return To Play」と「Prevent Of Injury」について理解しているかを確認するとともに、競技復帰支援と障害予防の双方の視点から理学療法士の役割を説明できる力を評価する。あわせて、スポーツ現場における安全管理やパフォーマンス支援に関する包括的理解を測ることを目的とする。

医療・マネジメントエグゼクティブ領域

【問題番号 9】

医療マネジメントを学ぶものとして備えておくべき基礎知識を問う。

【問題番号 10】

我が国にとって、少子高齢化は深刻な社会問題である。若者一人が支える高齢者の数が増え続けている今日、介護問題は、喫緊の課題として我々に迫っている。明るい未来を担うリーダーとしての問題解決能力を問う。